





第六節 医師は医業を助け  
る者に対して、感謝の念を  
忘れてはならない。

べきである。

任は、一七主治医が負ひの事ある。危急の場合、主治医が不在等の事故で、間に合わない時々、付合の責任ある、二一時

と云うものだよ。こゝに学者が着眼してかの恐るべき原子力を引きだしたのだ。だから「自然法を題  
彼はほんの少しの間、司徒左衛門の言ふことを聞いていた。」

いと云うのではないよ。  
の論理学の中で、矛盾の  
在を認めたのだね。これ

(昭和二十一年七月二十九日第三種廢便物認可)

第二章 医師相互間の  
義務

### 第一節 医師は、相互に尊敬と協力をとなすべきである。

医師は、相互に尊敬協力、切磋琢磨し、苟しくも独善、孤立に陥り、または学閥派閥等による割拠対立の如きことあらば、極力これを排除しなければならぬ。また連帶責任の実を擧げねばならない。

### 第二節 必要なる対診は、努めてこれを行なうべきである

医師は、患者の病状如何によつては、対診を要求すべきである。亦患者の要請ある場合、主たる医師は、快く対診の申出に応ず

診察した時には、自分の所見と意見とを記して、封書にし置く等の処置をすべきである。

第五節 対診上意見が一致しない時には、第二の対診医を招請すべきである。

対診の場合に、意見が一致しないときは、更に他の対診医を引き診断を明かにする必要がある。医師は、如何なる場合にも尤す患者のために図ることが主眼であることを忘れてはならない。

医師相互の礼節であることを、患者に理解させるべきである。第八節 前医の批評をすることは、医師の品位を傷けるものである。

前医の診療に対し、批評が正しいことを一切口にしてはならない。例え患者の質問に対しても、当時の症状殊に所見の不明を理由に、意見の発表を控まなければならぬ。

第九節 社交に於て、誤解を生じない様に心がけること医師が、他の医師の診療中の患者と知り合いの場合には、極めて慎重にして、誤解を招かぬようにならなければならない。

り宇宙觀を現わしているものだ  
と云うことを深く知る必要がある  
。したがつてある一つの思想  
が天才的哲学者の頭の中から突  
如として、かつその社会に超絶  
して現われると云うものではな  
い筈だ。これは前に述べた僕の  
天才論でよくわかるだろ。所  
が残念ながら、日本には日本民  
族の思想と云うものがない。」  
F 「でも先生、西田哲学がござ  
りますでしょ。」  
Y 「とんでもない。あの難解  
迷論をどれだけの日本人が理解  
することができるのだ。あれは  
日本人の思想でも何でもなく、  
ハーベルの弁証法の焼きなおし  
ことさ

### 第六章 亂世裡的道德經

第十節 主治医のある患者に  
対しては、主治医の諒解を得ずして、診療することは不徳の行為である。  
他の医師の診療中の患者に対しては、当該主治医の諒解なしに、診療を行つてはならない。  
主治医が不在又はその他の事故により、主治医に代つて、危急の招きを受けたときには応急処置を施して、これを主治医に報告して置かなければならぬ。

醫師が自分の病気又は旅行のため、休診する場合にその間、患者を他の医師に依頼した医師の事故が止解かなければならない。

十三節 患者について、他医からの問合せがあつた場合には、詳細且つ迅速に、必要な記録を提出すべきである。

つて診療して患者につい他医から問合せのあつた場合に、出来るだけ迅速に、且つ詳診療の写真たは線写真等料を提供し、適確なる診療遂に、協力援助を惜しんでならない。

第三章 医師の報酬

第一節 適正なる報酬は確保すべきである。

医師は、救療施設に沿し得な  
者や、真に医療費の負担に堪  
られない者を、無償で診療す  
ことは、医道の同情仁俠と  
望ましいことであるが、無料  
では低費診療を宣伝の具に供  
たり、これを通じて、脱法的  
や団体が、医療施設、保健施  
設の名目で、事業の附帯施設、  
たは独立事業として、診療  
病院等を設置し、無料相  
軽費診療を標榜して、事業  
宣伝広告の具に供するが如き  
とも、医療を商業的行為化す  
政策である。これは医学医術  
尊厳を冒涜し、ひいては正純  
の性質、組織、社会的使命  
良識によつて判断し、苟め  
人の指摘を受くるに至らしめ  
る医療や保健の指導を曲解さ  
医業の低下墮落を招来し、  
も同僚間の迷惑や、医道の昂  
と純正とを阻害せぬよう、十  
慎重にすべきである。

人の生活の上にうちたてられて思想なんて、頼むべからざる対者を信じた神風精神の他に社会の指導力にも人間エネルギーの源泉にもなり得る事がでるのか、結局全然価値がない云うのも同然さ。」

Y 「まあ、ずいぶんな酷評でこと、きっと京都から怒つてりますわ。」

日本はある原子爆弾の中かられて来た新しい日本でなくてならない。それはもつとも科学的な弁証法をもつた哲学だ。日哲学のすう勢が科学によつ頗る大きく左右されていることは事実だ。われわれいやしく今の日本人たるものはこの原爆弾の原理の中に新しい宇宙、世界観そして人生觀を求めてはならないのだ。即ち原核物理学こそ哲学転換の第四階を画くものだ。かくしてこにはきたない爆煙の一片のにもインドのタジ、マヘルの院やローマの聖ペテロ寺院もこれに比べたならば児戯としかえないような原子構造の壯麗。

北里研究所製品  
デフチア血清 デフチア達診液 破傷風  
血清 ツベルクリン毒素液 百日咳 コレラ  
麦粒チフス 鳥バラ混合 各々クチン 毒苗  
東京都港區 北里研究所 白金三光町

北里研究所製品

デフテリア血清 デフテリア謹防液 破傷風  
血清 ツベルタリン懸濁液 百日咳 コレラ  
發疹チフス 鳥バラ混合 各々クチン 痘苗

## 第三節 非医師に、医業の神

聖を冒瀆されはならない、  
非医師たる個人又は、非医師

の団体の經營になる医療機関  
で、医療普及並びに軽費診療を

看板に診療所、病院等を企画化  
せる者に雇傭され、生活費を

得させたり、不当な利潤の配当  
をあけさせて居る場合がある。

が、かかることは、崇高なる医  
業の特權を抛棄する反逆行為で  
ある。かゝる不正な営利主義

は、良心的の純正完全なる医業  
を阻止して、粗末不全の診療に  
陥らせることは明白である。

随つて医業の本質に悖り、罹  
患者にはこの上もない不幸をも  
たらすことになる。殊に心すべき  
は、医道の煩惱についての物議  
のみでなく、知らず識らずの  
間に屢々違反行為を誘致し、資  
格、免許に累を及ぼすに至ること  
となる。

第四節 社会正義、医業道德  
に反する特約診療をしては  
ならない。

次の條件のもとでは、特約診  
療をしてはならない。

一、患者誘致の意志あるとき  
二、特約のため、診療費の値  
下をするとき

三、適正医療を行ひがたき低  
い報酬に甘んずるとき

四、医師の合理的な自由競争  
を妨げるとき

(昭和二十一年七月二十九日第三種郵便物認可)

(昭和二十一年七月二十九日第三種郵便物認可)

五、医師の自由選択を妨げる  
とき

六、良心的な診療を行い得ない  
い條件で、雇われるとき

七、健全なる社会政策に反す  
るとき

八、その他これに類する不正  
不當の診療特約をなすとき

結語

以上は医師が、患者、同僚、  
医師会及び一般社会に対する責

任、義務、礼節等々、当然守る  
べきことの大道を述べたに過ぎ

ない。

医師は、如何なる場合に於て  
心懸くべきである。

要するに、医道の目的は「世  
のため人のためにつくす」と云

う一語につきるのであり、これ  
を実行する事によってのみ、医

師が、社会よりその真価を認め  
られ、医学医術が心からなる尊  
敬を受ける事になるのである。

医師は、如何なる場合に於て  
心懸くべきである。

要するに、医道の目的は「世  
のため人のためにつくす」と云

う一語につきるのであり、これ  
を実行する事によってのみ、医

師が、社会よりその真価を認め  
られ、医学医術が心からなる尊  
敬を受ける事になるのである。

医師は、如何なる場合に於て  
心懸くべきである。

要するに、医道の目的は「世  
のため人のためにつくす」と云

う一語につきるのであり、これ  
を実行する事によってのみ、医

師が、社会よりその真価を認め  
られ、医学医術が心からなる尊  
敬を受ける事になるのである。

医師は、如何なる場合に於て  
心懸くべきである。

要するに、医道の目的は「世  
のため人のためにつくす」と云

う一語につきるのであり、これ  
を実行する事によってのみ、医

師が、社会よりその真価を認め  
られ、医学医術が心からなる尊  
敬を受ける事になるのである。

医師は、如何なる場合に於て  
心懸くべきである。

要するに、医道の目的は「世  
のため人のためにつくす」と云

う一語につきるのであり、これ  
を実行する事によってのみ、医

師が、社会よりその真価を認め  
られ、医学医術が心からなる尊  
敬を受ける事になるのである。

医師は、如何なる場合に於て  
心懸くべきである。

要するに、医道の目的は「世  
のため人のためにつくす」と云

う一語につきるのであり、これ  
を実行する事によってのみ、医

師が、社会よりその真価を認め  
られ、医学医術が心からなる尊  
敬を受ける事になるのである。

医師は、如何なる場合に於て  
心懸くべきである。

要するに、医道の目的は「世  
のため人のためにつくす」と云

う一語につきるのであり、これ  
を実行する事によってのみ、医

師が、社会よりその真価を認め  
られ、医学医術が心からなる尊  
敬を受ける事になるのである。

医師は、如何なる場合に於て  
心懸くべきである。

要するに、医道の目的は「世  
のため人のためにつくす」と云

う一語につきるのであり、これ  
を実行する事によってのみ、医

師が、社会よりその真価を認め  
られ、医学医術が心からなる尊  
敬を受ける事になるのである。

相様を示している。

経過概要 小委員長に未高会

長を満場一致で推薦、但し欠席  
とも相互の関連の上で考え方

の際は医療担当者側の犠牲と保  
険者側の犠牲とを最少限に止め  
て円満なものを作りたい。

以上の代表的意見に次で、種  
々関連事項についての質疑応答  
が、話合つている間に何等解決

事を行つて出席している。

○第一 地域差問題 川上委員代  
理より「単価問題は未だ各委員  
員は第一は小委員会の進め方運  
営について、第二は去る八月の  
総会に於ける地域差問題の二点  
であつて、その大要は次の通り。  
長を満場一致で推薦、但し欠席  
とも相互の関連の上で考え方

の際は医療担当者側の犠牲と保  
険者側の犠牲とを最少限に止め  
て円満なものを作りたい。

以上の代表的意見に次で、種  
々関連事項についての質疑応答  
が、話合つている間に何等解決

事を行つて出席している。

立石委員(健保連合会)吾々  
が既に遅い。ここまで来ては、  
单価値上げの前途は愈々多難の  
相様を示している。

もからみ合つて居るし、現在の  
給付が保険料とバランスがとれ  
て居るかどうかというようなこ  
とを指すは倉庫の方ならず、正し  
く河の方、ア、舟だなと思つた  
山形へ、手紙を出そう。

もからみ合つて居るし、現在の  
給